

# 7. 交通需要の新フレーム

## (1) 過去の推計値と実績値

過去の推計では、オイルショック、バブル経済等予期できないような社会経済情勢の変化がある場合は、実績値と大きな乖離。  
 ・第11次五箇年計画・現五箇年計画においてはほぼ推計通りの実績値。

(単位 :10億台キロ/年)

	推計基準年	推計基準年から10年後			
		年次	推計値 (B)	実績値 (A)	比率 (A/B)
第9次	1980年	1990年	600	629	1.048
第10次	1985年	1995年 <sup>1</sup>	627	720	1.149
第11次	1990年	2000年	778	776	0.997
現五計	1995年	2000年 <sup>2</sup>	787	776	0.985

1 第10次については、実績値(1985年)と推計値(2000年)より1995年推計値を仮定

2 現五計については直近の2000年で比較

## (2) 新たな交通需要推計

### GDP

・超長期の交通需要推計を行うため、2050年までのGDPを想定。

### 人口

・少子・高齢化の影響を考慮するため、性・年齢階層別人口に区分して推計。

### 免許保有率

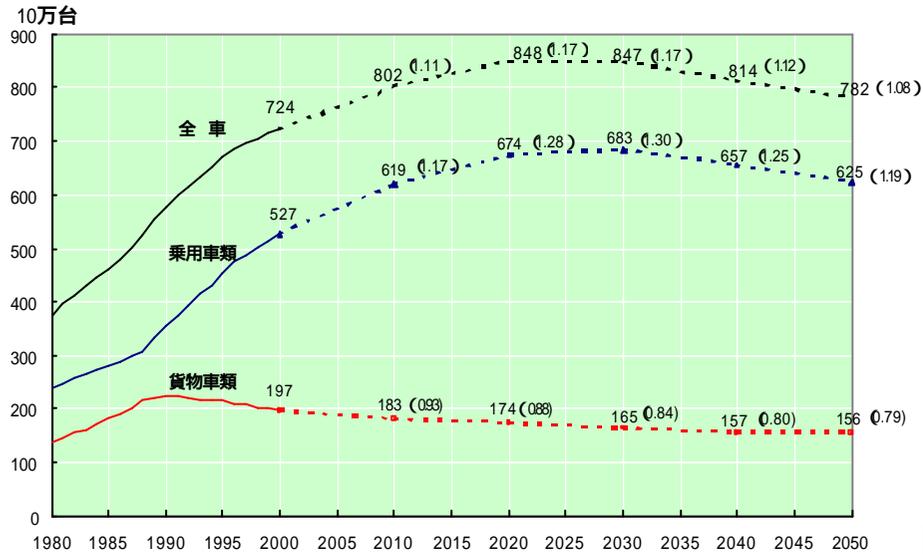
・性・年齢階層別(5歳階級別)の免許保有率の動向を考慮して想定。

項目	現五計	新たな交通需要推計
GDP	構造改革のための経済社会計画、活力ある経済「安心できる暮らし」の進捗状況と今後の課題(H8.12閣議報告書参考資料)	1999~2002年:実績値 2003~2010年: 「構造改革と経済財政の中期展望」(平成14年1月25日閣議決定)及び同参考資料(内閣府作成)における推計値 2011~2050年:国土交通省推計値
人口	「日本の将来推計人口」 国立社会保障・人口問題研究所	同左
免許保有率	-	過去の実績データに基づき国土交通省で推計

### (3)推計結果

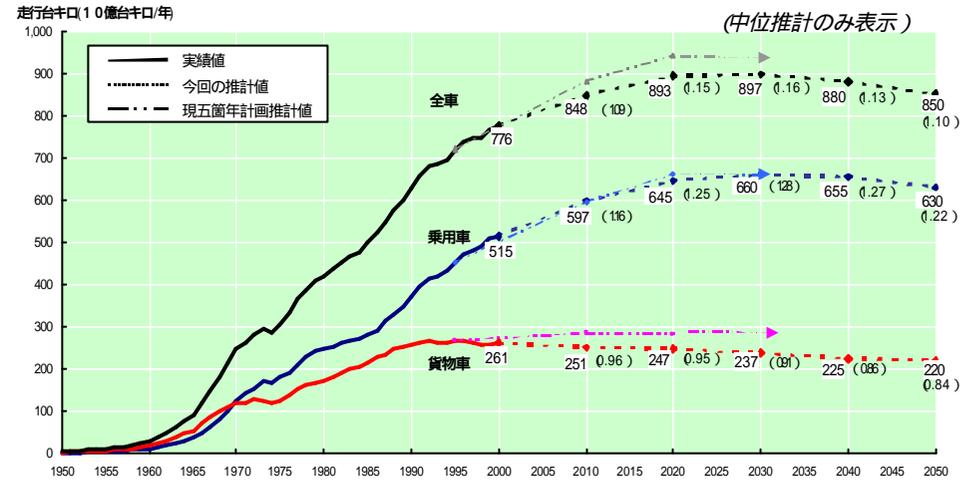
#### 保有台数

・貨物車は一貫して減少し、乗用車は2030年頃にピークを迎え、その後減少に転じる見通し。



#### 走行台キロ

・全車で走行台キロは2030年前後でピークを迎える見通し。



(単位: 10億台キロ/年)

		2000年	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年
今回推計値	全車	776	848	893	897	880	850
	乗用車	515	597	645	660	655	630
	貨物車	261	251	247	237	225	220
	今回/現五計	0.99	0.96	0.95	0.95	0.93	0.90
現五計推計値	全車	787	881	943	943	943	943
	乗用車	509	595	661	661	661	661
	貨物車	278	285	282	282	282	282

#### 幅を持った交通需要推計

(単位: 10億台キロ/年)

		2000年	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年
高位ケース	全車	776	849	902	923	926	923
	高位/標準	(1.00)	(1.00)	(1.01)	(1.03)	(1.05)	(1.09)
低位ケース	全車	776	844	885	877	838	787
	低位/標準	(1.00)	(1.00)	(0.99)	(0.98)	(0.95)	(0.93)

(4) 累積交通量における現五計交通需要推計値と新しい交通需要推計値との比較

新たな交通需要推計での今後50年間の累積交通量は、現五計と比較して4%程度の減少。

(単位 :10億台キロ/年)

	2000～2050年全車累積交通量 (割引なし)				
	現五計交通需要推計値 (A)	新たな交通需要推計値 (標準ケース) (B)	比率 (B/A)	交通量一定 (2000年値) (C)	比率 (C/A)
全国	46,627	44108	0.95	39,562	0.85
北海道	2,767	2543	0.92	2,261	0.82
北東北	1,881	1600	0.85	1,511	0.80
南東北	2,670	2626	0.98	2,327	0.87
関東内陸	4,481	4790	1.07	4,231	0.94
関東臨海	8,813	8290	0.94	7,312	0.83
東海	6,638	5988	0.90	5,339	0.80
北陸	2,204	2168	0.98	2,000	0.91
近畿内陸	2,194	2099	0.96	1,850	0.84
近畿臨海	4,545	3982	0.88	3,665	0.81
山陰	588	575	0.98	547	0.93
山陽	2,511	2313	0.92	2,136	0.85
四国	1,568	1497	0.96	1,411	0.90
北九州	3,342	3247	0.97	2,859	0.86
南九州	1,969	1896	0.96	1,724	0.88
沖縄	455	493	1.08	389	0.85
(参考)	2000～2050年全車累積交通量 (割引率4%)				
全国	20,018	19,134	0.96	17,440	0.87

(5) 諸外国との比較

将来の1人当たり走行台キロの水準は、2050年においても1995年のフランスと同程度。  
将来の1人当たり走行台キロの伸びは、イギリスやドイツの推計値と比べて小さい。

